

ほゝえみ

題字:元壮瞥町長 館崎盛男



特別養護老人ホーム
第2長日園

Heart of kindness, thoughtfulness, support, love and respect.

〒052-0101 北海道有珠郡壮瞥町字滝之町 287 番地 8
tel (0142) 66 - 3255 fax (0142) 66 - 2373
E-mail:tyoujituen@athena.ocn.ne.jp

発行責任者 松本 勉
PRINTING&PLANNING (梅)さんおん

No.96
平成26年5月1日

平成26年度事業計画

3月24日、社会福祉法人長日会の理事会並びに評議員会が開催され、法人並びに各施設の事業計画、予算が決定されました。

新年度の事業推進にあたっては、法人が運営する施設・在宅サービスの量的拡大と質的充実を図り、壮瞥町における

総合的な福祉・介護サービスの提供機関として、地域から求められる機関・施設を目指して行きます。

また、ホームページや広報を利用し、情報の公開、提供に努め、透明性、信頼性の確保を図ります。

平成26年度長日園行事計画（予定）	
4月	誕生会・バスハイク
5月	バスハイク・観桜会・避難訓練・誕生会
6月	誕生会・野外昼食会・家族交流室内運動会
7月	誕生会・野外昼食会・サクランボ狩り・バスハイク
8月	誕生会・納涼会・バスハイク・避難訓練
9月	誕生会・敬老会・彼岸法要・バスハイク
10月	誕生会・リンゴ狩り・バスハイク
11月	誕生会・避難訓練
12月	誕生会・忘年会・クリスマス会・餅つき会
1月	誕生会・新年会
2月	誕生会・節分豆まき・避難訓練
3月	誕生会・家族交流会・彼岸法要・ひな祭り

家族会

3月29日、家族会総会が開催され、平成25年度の事業報告と決算報告、平成26年度の事業計画と予算の承認を頂きました。

また、役員の補充があり、次の方が新役員に選任されました。

平成26年度の役員を

紹介いたします

(敬称略)

会長	横山 実
副会長	澤田 廉三
副会長	高橋 庸夫
理事	村上 則雄
理事	藤吉 恵子
理事	井馬 一美
監事	毛利 美佐

平成26年度家族会行事計画

6月下旬 室内運動会
 7月中旬 サクランボ狩り
 9月中旬 敬老会
 10月上旬 リンゴ狩り
 12月中旬 餅つき会
 3月下旬 家族会総会、
 昼食会

新年会

1月18日（土）今年初の行事、新年会と1月の誕生会が行われました。沢山のご家族の参加により楽しい一時を過ごし、お年寄りの方々の笑顔を沢山見ることが出来ました。

恒例の余興ではデイサービスの職員による『浪花節だよ人生は』女性職員による『西遊記』が披露され、大変盛り上がりました。ご家族の皆さんお忙しい中参加頂き、ありがとうございました。





豆まき

長日園では、毎年職員とお年寄りの皆さんで豆まきを行う事が恒例となっています。「鬼は外」「福は内」と大きな声で園内を回り厄を祓います。昔から年の分だけ豆を食べると一年間健康でいられると言われています。拾った後は皆で一年の健康を祈り、沢山豆を食べました。

はじめまして

新しい仲間が増えました。



早川フヨ子さん

伊達市

3月1日に入所されました。毎日楽しいお話を聞かせてくれ、とても笑顔の素敵な方です。

これからも楽しいお話いっぱい聞かせて下さいね。



岡崎 絹江さん

伊達市

岡崎さんは家事や掃除が大好きなので、いつも雑巾がけや食堂のテーブル拭きを率先して手伝ってくれます。また、ドライブも大好きなので暖かくなったらお散歩へ行こうと思います。

暖かくなったらお散歩へ行こうと思います。



近藤 綾

訪問介護員

「いつも笑顔で元気良く」をモットーにしています。少しでも皆さんのより良い暮らしのお手伝いが出るよう、日々努めたいと思います。



中尾 晴江

介護員

介護の仕事は経験が浅く、勉強中の毎日です。お年寄りの皆様が、気持ちよく過ごして頂けるよう、頑張っていきたいと思っています。

職員紹介



佐藤 富子

介護支援専門員

3月31日で27年間勤めた職場を定年退職しました。あっという間の27年間でしたが、お年寄りの皆さま方と接することが楽しく、やりがいを持ってたので続けてこれたのだと思っています。色々な事を教えて頂き、経験を積み重ねることが出来たことを感謝しています。

長い間大変お世話になりました。入所者の皆様、どうぞお体に気をつけてお過ごしください。

退職者



三上 千晴

訪問介護員

訪問介護の仕事はまだまだ日が浅く、勉強することが沢山ありますが、利用者の自立のため、役に立とうと頑張っていきたいと思っています。

思い出のアルバム



誕生会の様子



手作り昼食



蒸しパン作り



ヘルパーステーション

ふれあい

電話 (0142) 66 - 3184

『ヘルパーステーションふれあい』では、色々な機関と連携を取りながら、皆さんの日常生活を支援しています。

鯉のぼりが元気に空に泳ぎ、吹き抜ける風も爽やかになって来ましたが、まだまだ朝晩は冷たさが残っていますので、皆さん体調を崩さないように気を付けて下さい。

さて、私達ホームヘルパーは、今年度も利用者の方々が一人数では「出来ないこと」を一緒に行い、ご本人の「出来ること」を活かして自立した生活を送って頂くよう支援してまいります。以前は、自分で調理や洗濯など家事を行っていたが、環境の変化や身体的負担など様々な理由で出来なくなった方々が訪問介護を利用し、負担軽減や少しでも出来るようになる

事を目標にサービスを提供しております。

利用者の方々、ご自宅で安心して日常生活を営むことが出来るよう、これからも『ヘルパーステーションふれあい』は、各機関と連携を図りながら利用者の方々を支援させていただきます。より良いサービスを提供できるように頑張っていますので、どうぞよろしくお願い致します。サービス内容でのご相談や分からないことがありましたら、お気軽にご連絡下さい。



支援ハウスでは、月に1度ボランティアの皆さん(4名)を迎え、入居者の方と作品作りやランプ遊び(一番盛り上がるババ抜き)を行っています。皆さん真剣になり、笑い出すことも多々あります。時には軽い体操で体をほぐし、リラックスマード!! その後はティータムで終了です。参加者は約7名で和気あいあいと過ごされ、一部作品は廊下の壁に掲示して、来訪者に見て頂いています。

3月のひな祭りには『桜餅作り』を行いました。年に1度の行事とあって、張り切って各々分担し作業を進め、短時間で完成！とても良い出来ばえでカメラにおさめました。その後は試食会を実施し、満足気な表情で「来年も作ろうね!」と気が早い元氣な皆さんでした。

壮警町生活支援ハウス ふれあいホーム

電話 (0142)
66-4141

デイサービス オリンピック 大会が復活！



平成 26 年 2 月にソチ冬季オリンピックに因んで「第 17 回 デイサービスオリンピック」を開催しました。前回実施したのが平成 17 年でしたので、実に 9 年ぶりの開催となりました。

種目は、普段実施しているゲーム形式のプログラムの中から職員が選び、複数回利用されている方もいるので、各曜日違った種目で個人戦を行いました。いつも行っているプログラムでも「オリンピック」と特別に意識すると、知らず知らずのうちに力が入り過ぎてしまい上手くいかなかった方や、普段通りマイペースで出来た方など様々でしたが、1 位～3 位の方に金・銀・銅メダルと賞状が授与されると「このメダル重くて本物みたいだね。」「こんな立派な賞状をもらって嬉しいよ。」等の声が聞かれ、とても盛り上がっていました。

次回の開催は未定ですが、実施の際には金メダル目指して頑張りましょう！！



デイサービスセンターふれあい広場利用状況

平成 26 年 3 月 31 日現在

	月	火	水	木	金
男	4	1	2	3	2
女	13	12	10	8	16
計	17 名	13 名	12 名	11 名	18 名

※ 壮瞥町から委託されている自立外出支援事業利用者を含んだ利用延べ人数です。

ふれあい広場

思い出写真館

1 月



お正月恒例の糸引きゲームで盛り上がっています。誰が当たったかな？

デイオリピックの一コマ



デイオリピックの競技開始前に国歌斉唱♪

2 月



節分の飾り



“鬼”と午年生まれの利用者との2ショット



上手くいつて拍手喝采!?



ボウリングゲームです。何本倒れたかな？

3 月



吊るし雛作品



お雛様と3人官女のちぎり絵作品



オリンピック大会長と大会旗を持ってハイチーズ



堅い友情で結ばれた2人です。

豆まきあとの落花生を年の数だけ食べています。(1人20個くらい!...ですか?)



結構な御点前です。

英会話のひととき風景



ピース!!



たいへんおいしくいただきました



仲よし3人組で澄まし顔

家族交流会

3月29日に家族交流会が誕生会を兼ねて23名のご家族の参加のもと行われました。

家族会副会長の澤田さんのご挨拶と乾杯の音頭により始まりました。当日のメニューは「マグロ丼」と「ちゃんこ鍋」。鍋をつつきながら会話も弾み、笑顔がいっぱいの楽しい一時を過ごしました。

余興ではお年寄りやご家族からのカラオケと、佐藤介護員による日本舞踊「関東春雨傘」が披露され、拍手喝采、アンコールの声も響く素晴らしい演奏でした。
ご家族の皆様、多忙の中、沢山のご出席ありがとうございました。



『介護力向上』の実践に 取り組みました!!

平成25年4月から1年にわたり、北海道老人福祉施設協議会が主催する、『介護力向上講習会』を受講しながら、国際医療福祉大学の竹内孝仁教授の指導のもと、「日中おむつゼロ」を目標に「食事」「水分」「排便」「リハビリ」のケアの強化に実践的に取り組みました。

その結果、左の表に記載したように、それぞれの項目において改善が見られました。今回の研修で得た技術や知識を今後のケアにも大いに活かし、お年寄りの皆様の暮らしを豊かにできるよう頑張っております。

	平成 25 年 7 月	平成 26 年 2 月
1 日水分量 (平均)	1,129ml	1,656ml
1 日食事量 (平均)	1,312kcal	1,386kcal
1 日歩行距離 (平均)	264.3m	382.9m
下剤使用者	72.34%	41.67%
トイレで排泄	76.6%	85.42%
オムツ使用者	57.45%	12.5%

ありがとうございました

平成26年1月1日から

平成26年3月31日 (敬称略)

《寄付金》

- 佐々木キナ 伊達市
- 近藤 悦子 壮瞥町
- 建部 茂樹 新ひだか町

《寄贈品》

- 伊藤 善博 伊達市
- 高橋 仁 登別市
- 多田 寛子 伊達市
- 菊地 幸子 伊達市
- 藤吉 恵子 室蘭市
- 森近 恭子 壮瞥町
- 高橋 庸夫 壮瞥町
- 菊地 文雄 伊達市
- 松倉 一男 伊達市
- 斉藤 文江 伊達市
- 土屋 正康 伊達市

《ボランティア》

- ひだまりの会 壮瞥町
- フレンドショップ トミタ 壮瞥町
- 佐藤 美智子 壮瞥町
- あかね会 壮瞥町
- 壮瞥赤十字奉仕団 壮瞥町

編集後記

屋根や道路の雪も姿を消して春の訪れを実感出来る季節となりました。今年も、例年にくらべ雪解けも早くホッと一安心。

でも、この季節、まだまだ安心できないのが、風邪やインフルエンザです。日頃から手洗い、うがいを行うことで、我々の想像以上に感染の予防効果があるそうです。

朝晩の冷え込みがまだつづいていますが、体調管理には十分気付けてお過ごしください。
(M・H)

